

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	英語指導助手派遣事業	所管	教育委員会学校教育部 教育センター
			TEL 2923-2396

事業の目的 (何の為に 行うか)	所沢市立中学校の実践的な英語教育の充実を図るとともに、小中学校の国際理解教育を推進する。
------------------------	--

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	所沢市立小・中学校児童生徒数	対象とした数	25,889	人
		実際に 利用した数	20,049	人

活動の内容	(何を したか)	1、所沢市立中学校15校へ4月～翌年3月までの間、英語指導助手を一人ずつ派遣する。 2、小学校の国際理解教育推進のため、市立小学校へ派遣する。 3、教育センターの教員研修の一環として、英会話指導をする。							
活動実績	項目名	派遣状況(中学校)	2989	項目名	派遣状況(小学校)	615	項目名		単位
			----- 単位 日			----- 単位 日			

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	68,520	67,921	72,806	214.7

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	指導有効率	アンケート回答「役立った」「やや役立った」の回答数/派遣小中学校教員アンケート回答者数	90	100	111.1
			----- 単位 %	----- 単位 %	----- 単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ * 拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 []							
		終了	⇒	事業完了	終了	休止			
	予算	現状どおり	* 増額	減額	終了				

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了									
	総合 評価	拡充	縮小	統合	改善・効率化	改善余地なし	その他 []	終了		
	予算	現状どおり	増額	減額	終了					

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当	部課コード	130500	TEL	2923-2396
事業コード	英語指導助手派遣事業	担当	教育委員会学校教育部 教育センター			
130504		グループ	研修・研究			
開始年度		昭和 61 年度	→	終了年度	平成 年度	

②事業の概要	事業の種類別	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input type="checkbox"/> 法定受託+附加	根拠法令				
	分野別計画・指針	所沢市英語指導助手設置要項							
	関連・類似事業	地方自治法							
	総合計画の体系	政策	第4章 いきいきと学び 人・文化をはぐくむまち	施策	2節 学校教育	中柱	1 教育内容の充実	小柱	(3) 国際理解教育の充実
・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 6 位		・実施計画における位置づけ…				H19	○	H20	○
行政改革大綱における行動計画への位置づけ						コード		コード	
事業開始の背景		国際化の進展に伴い、中学校英語教育において「話す・聞く」ことを中心とする実践的コミュニケーション能力の必要性が叫ばれるようになった。これに対し、市内中学校の英語教育を充実させるため、外国人の英語指導助手を派遣することとした。							

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に)								
	所沢市立中学校の実践的な英語教育の充実を図るとともに、小中学校の国際理解教育を推進する。								
	対象(誰を、何を対象としているのか)			利用数の考え方					
	所沢市立小・中学校児童生徒数			中学校全生徒数と、小学校1・2年生を除く全児童数					
対象数	単位	平成 18 年度	25,968	人	利用数	単位	平成 18 年度	19,999	人
		平成 19 年度	25,889	人			平成 19 年度	20,049	人
事業の具体的な内容及び実施方法									
1. 所沢市立中学校15校へ4月～翌年3月までの間、英語指導助手を一人ずつ派遣する。 2. 小学校の国際理解教育推進のため、市立小学校へ派遣する。 3. 教育センターの教員研修の一環として、英会話指導をする。									

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input checked="" type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 >>					
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])				
		<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)				
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
平成19年度中に改善した点						
1. 平成20年度より小学校の国際理解教育推進のため、市立小学校へ隔週1回英語指導助手の派遣する計画を立てた。 2. 平成20年度より教育センターの教員研修の一環として、小学校外国語活動研修会を実施するための計画を立てた。						

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)	
	当初予算		68,520	68,520	68,620	
	決 算 (見込み含む)		67,997	67,921		
	(嘱託職員) (臨時職員)	(人)	(人)	(人)	(人)	
	正規職員人件費		0.52 人	4,784	0.52 人	4,885
	公債費					
	事業費合計		72,781	72,806		
	財源内訳	一般財源		72,781	72,806	68,620
		国・県支出金				
		受益者負担金				
市債						
その他						
市民一人当たり(単位:円)		215.4	214.7			
利用数一単位あたり(単位:円)		3,639.2	3,631.4			

※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。

⑥指標	項目名	計算方法	単位		H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	活動実績	派遣状況(中学校)	延べ派遣日数	日	/	2873	2989	2900	
		派遣状況(小学校)	延べ派遣日数	日		607	615	600	
	成果分析	指導有効率	アンケート回答「役立った」「やや役立った」の回答数/派遣小中学校教員アンケート回答者数	目標値	%	100	90		
実績				%	100	100		実績値の拡大を図る1	
達成率				%	100.0	111.1		実績値の縮小を図る2	

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価	
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体	見直しの必要性
		<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input checked="" type="checkbox"/> 対象を拡大する <input type="checkbox"/> 見直しの必要なし		所沢市	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合	受益と負担の関係	受益者負担の有無	見直しの必要性
<input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input checked="" type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要なし		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
明らかとなった課題	小学校5、6年生の週1時間の外国語活動必修化。中学校の英語時数週1時間増。				
評価	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)		
	平成20年度における目標設定	小学校英語活動支援策の策定	英語指導助手の計画的派遣	平成21年3月	
		英語指導助手の服務管理業務を中学校へ委譲	中学校側の理解と準備態勢を整える	平成21年3月	
平成21年度における事業の方向性					
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])				
予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input checked="" type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
評価理由					
学習指導要領の改定に伴い、小学校5、6年生の週1時間の外国語活動が必修化されるため、小学校への外国人の英語指導助手を派遣する必要がある。また、中学校の英語の時間が週1時間増えることから、中学校英語指導のより一層の充実が必要である。					
評価日	平成20年5月2日	記入者職氏名	教育センター所長・永井博彦		

⑧二次評価	平成21年度における事業の方向性						
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [] <input type="checkbox"/> 終了					
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了					
	評価理由	評価日					
評価	次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
		市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
評価理由	評価日					<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業	

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 有り	計画コード	1162
	基本目標	1子どもたちがたくましく生きていくための力を伸ばします		
	主要課題	1子どもたちの知識・能力の育成		
施策の方向	6国際感覚の育成			